

# きこち。

*Yamane-mokuzai quarterly magazine 'Kicocochi' 2018 / Spring*

特集

## 木の家と 家族と。



Kamon

特集

# 家族と 木の家。

家は、風土。  
-木と暮らす。- 実例⑤

先祖が残してくれた家に  
住み継ぐ決意をした30代の若い家族。  
100年を越す古民家を  
大胆に、快適にリノベーション。  
祖母、両親、そして子どもたちの  
4世代が支え合いながら、  
温かく暮らしている。

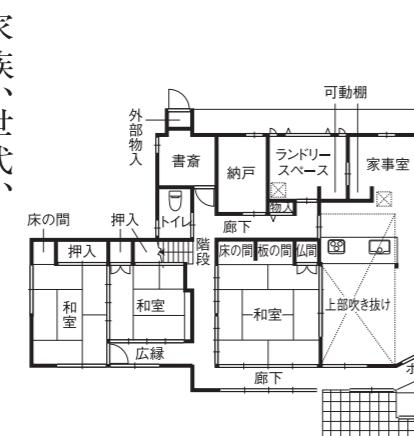


春の気配を感じる縁側で、庭の景色を楽しむY様一家と93歳の祖母。家族本来のあり方を感じさせる暮らしだ

黄金山を見渡す広島市東区の住宅地。Y様邸は築100年を越す古民家だ。4歳と1歳の子どもを持つ4人家族で、隣には父母の住まい、そして母屋の一角に「大きいおばあちゃん」こと93歳の祖母も住む4世代の暮らしだ。

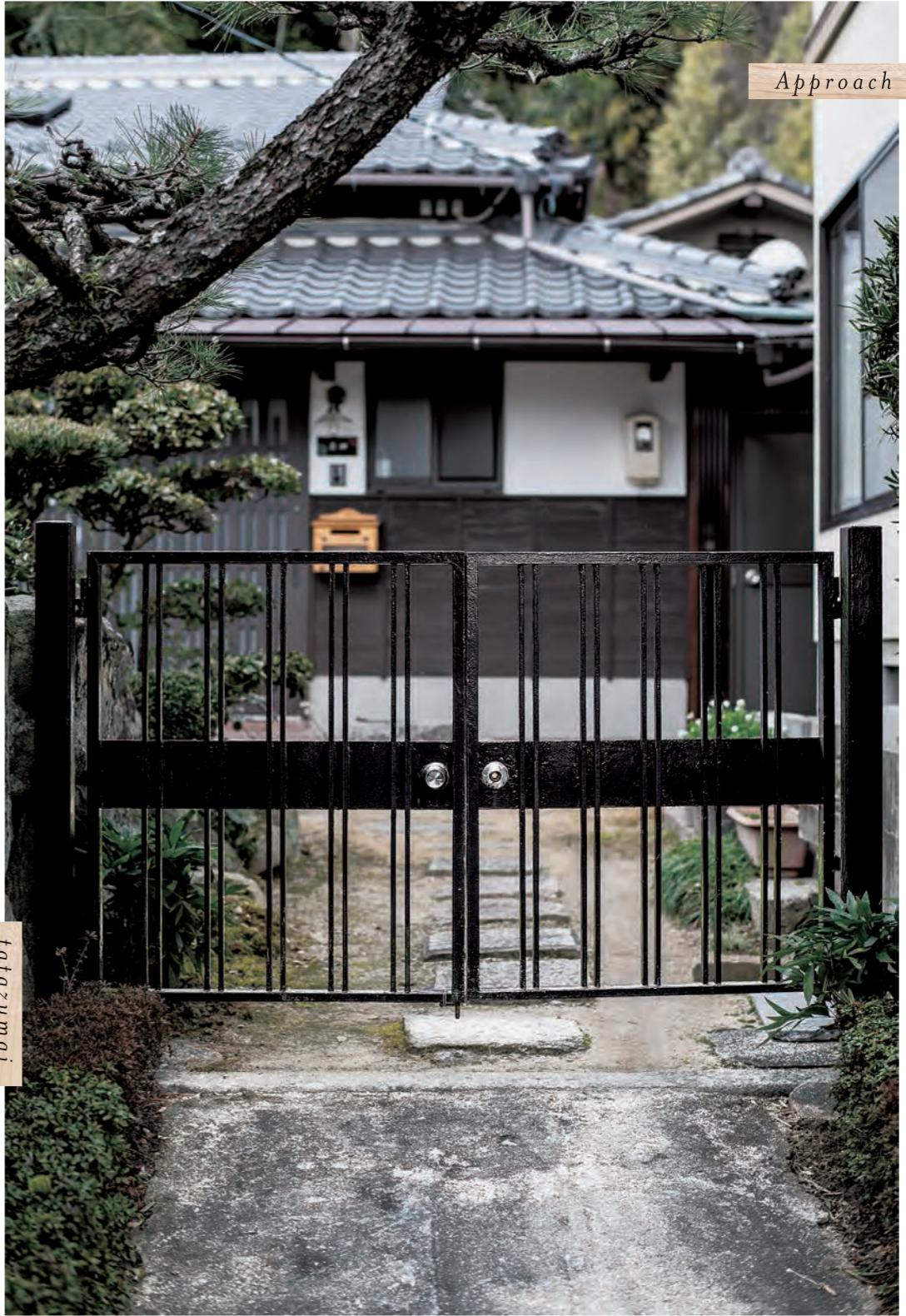
Y様一家は母屋に暮らすことになった数年前から、家の老朽化が気になっていた。この家は本家としてお盆やお正月に親族が集まる家。親族みんなの「帰る場所」としてこの家を残したいと考え、リノベーションに踏み切った。昔ながらの田の字づくりを、LDKや家事室などに変えるプランだった。

家族、世代、  
そして空間。  
つながつて  
いるから  
安らげる



LDKの天井には家を支える立派な梁が横たわる

大切にしようと思った。  
親族が「帰る」  
確かな場所を



外観は、100年余りの歴史ある佇まいを損なわないように補修した。右が両親の住まい、母屋とは室内で行き来できる